

令和8年度第1回江南市地域公共交通会議 会議録

●日 時 令和8年8月4日（火） 午後3時～午後4時40分

●場 所 江南市役所3階 第3委員会室

出席者 16名（夫馬 康昌、臼井 雅宏、森 稔、若林 亨修、小林 裕之、鈴木 浩示、高橋 正博、青山 多佳子、磯部 友彦、原田 光一郎、高臣 綾子（代理：市川 哲也）、伊藤 和喜（代理：山口 達也）、栗本 浩一、長谷川 雅敏、近藤 和彦（代理：大森 正太郎）、鵜飼 篤市
欠席 1名（藤原 英智）

●傍聴者数 6名

●資 料

資料1－1：令和7年度地域公共交通に関する自己評価概要（中部様式）

資料1－2：政策評価の評価方法

資料2：令和7年度江南市地域公共交通会議会計決算の承認について

資料3：令和8年度江南市地域公共交通会議会計補正予算（第1号）

資料4：江南市地域公共交通計画策定について

資料5：令和8年度第1回江南市地域公共交通に関する地域懇談会の開催結果について

資料6：いこまいCAR（予約便）のダイナミックプライシング（変動料金制）について

参考資料1：令和7年度江南市地域公共交通（いこまいCAR・バス）の利用状況

参考資料2：江南市における地域公共交通の基本的な考え方

参考資料3：江南市内のバス停・路線図

開会（午後3時00分）

○会長あいさつ

会 長 暑い中、1日で一番暑くなる時間帯に集まっていただきましてありがとうございます。まず、私事ですけれども、この3月に中部大学を退職しましたので、今の肩書は中部大学名誉教授という形で参加しておりますので、引き続きお願いいたします。交通の話題をひとつ申し上げたいと思います。もう8月になりましたけれども、9月になりますと、生活道路の法定速度が30kmになります。この地域交通を考えると、かなり関係する話題だと思います。そこで我々は、どれぐらいのスピードで移動するのがいいのかというのを考えたいなと思います。やはり早く移動したいとみんな思うのですが、本当に早く移動する必要があるのかどうかを考えてみるといいのではないかな。別に遅ければいいというつもりじゃないのですが、無理に早く行く必要もないのかなと思いながら今日も家からここへ来るまで、普段とは違う路線で大回りして来たのですが楽しかったです。皆さんいろんな心配があるかもしれませんが、要するに交通を一つ違う考え方をしていくと、また違った見方ができるかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

○自己紹介 各委員より自己紹介

○議題 協議事項

1. 令和7年度地域公共交通に関する自己評価について
（資料1-1、1-2、参考資料1～3）

会 長 それでは協議事項に入ります。「令和7年度地域公共交通に関する自己評価について」事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1-1、1-2、参考資料1～3に基づき説明

会 長 地域交通会議の全体の自己評価をまとめたということであります。全般でいいですから、何かご質問、ご意見がございましたらお受けいたしますが、いかがでしょうか。

委 員 指標が利用回数で整理されていますが、利用者数で統計をとられるのが一

般的かと思います。利用回数と利用者数はどのように整理されているのでしょうか。

事務局 いこまいC A Rにつきましては、予約者に同乗者を含めた延人数を「利用回数」として整理しております。バスについても、名鉄バスと大口町からいただいた資料を元に利用回数という形で表現しております。

会 長 目標が「市民一人当たりの公共交通利用回数」とされているため、利用回数と表現されているのではないのでしょうか。

事務局 参考資料2の23ページに設定した評価指標があり、それに合わせた表現としております。

会 長 おそらく、何人とするか市民の何万人のうちの何人が使ったかとなってしまっているので、当時は回数という考え方でやろうとなったのではないのでしょうか。

事務局 人数では、「延べ」という言葉を追記しなければ意味が伝わらないと思うので、そのまま表現できる利用回数を指標として使ったと思います。

会 長 新しく地域公共交通計画を作りますから、どのような表現が良いかも議論すると良いと思います。他にいかがでしょうか。

委 員 資料1-1の7ページに減便と多くありますが、運転手不足等の理由があれば教えていただければと思います。

事務局 江南・病院線は（すいとぴあ江南とフラワーパーク江南間を）延伸した結果、全体の便数が減りました。江南団地A線とD線は、運転手の労働時間の法改正に伴い、全体的に減便いたしました。

委 員 交通事業者として採用活動等を強化してやっていますが、乗務員不足が続いているのが根本としてあります。その中でサービスを維持するため、利用状況に合わせて合理化や延伸、減便をして進めた結果でございます。

委 員 令和8年度で対応方針など、名鉄バスと協力してという記載がありますが、他の自治体でも運転手確保に向けた対策、事業者と市が協力してやっ

ている例もありますので、そういったところもご検討いただければと思っていますので、よろしくお願いします。

会 長 他にいかがでしょうか。
江南市地域公共交通会議全体としての自己評価をこう取りまとめることになりました。協議事項ですのでお諮りしたいと思います。これを承認していただけるということでよろしいでしょうか。

<異議なし>

○議題 協議事項

2. 令和7年度江南市地域公共交通会議会計決算の承認について（資料2）

会 長 続きまして協議事項2「令和7年度江南市地域公共交通会議会計決算の承認について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料2に基づき説明

会 長 昨年度会計の決算をまとめたものですが、これについて皆さんのご意見かご質問がありましたらお願いします。
使い方としては、主にこの会議運営と基礎調査で、地域公共交通会議として計画を作っていく準備をさせていただいたというところです。
よろしければ、ご承認をお願いしたいと思いますが、原案どおりでよろしいでしょうか。

<異議なし>

○議題 協議事項

3. 令和8年度江南市地域公共交通会議会計補正予算（第1号）について（資料3）

会 長 続きまして協議事項3「令和8年度江南市地域公共交通会議会計補正予算（第1号）について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料3に基づき説明

会 長 ご説明いただきましたが、分かりにくいかと思いますので、質問をしてい

ただきたいと思います。いかがでしょうか。

国の方から補助金の制度をご説明いただけますか。

委員 令和８年度、江南市の場合は地域公共交通調査事業（地域公共交通アップデート化推進事業）を活用されています。本当は満額出せば良かったのですが、相当数の自治体もエントリーしてきましたので、査定が入って減額で、このような金額になってしまったことをご理解いただければと思います。

会長 当初予定していたのとは変更があって、足りない分は市の会計からお願いするということよろしいですね。

事務局 その通りです。歳出の返還額が０円から 813,000 円に変更させていただいておりますのは、補助金の内示によって補正した内容とは少し違っております。そもそも公共交通会議会計は市とは独立した会計ですので、基本的に余剰金を持たないことになります。令和７年の決算を受けて、補助金は、委託料の公共交通計画策定委託料を支払った後にしか支払われないことが分かりましたので、まずは委託費の全てを一般会計に負担していただかないと委託料が払えないということになりました。そのため歳入の負担金を増額し、また歳入の補助金は減額し、国からいただいた補助金は、一般会計に返還するため、歳出の返還金を計上したという流れです。非常にややこしくて申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

会長 整理しますと、資料３で国から補助金が 813,000 円入る予定ですが、入るのは年度末になります。要するに仕事が終わってから入るが、仕事をするためにお金があるので、それを市の一般会計から入れてもらい、実作業が終わると国の補助金が入るので、それを市に返すという流れです。お金が入る約束があるからできる会計処理になります。国と市と地域公共交通会議の会計というのは複雑な関係になっていますが、皆さん、何かご質問いただけますか。

よろしければ、これも承認が欲しいのですが、原案通り、承認でよろしいでしょうか。

<異議なし>

○議題 協議事項

4. 江南市地域公共交通計画策定について（資料4）

会 長 続きまして協議事項4「江南市地域公共交通計画策定について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料4に基づき説明

会 長 地域公共交通計画を作っていくということなんです。実は今、江南市にはなく、あるのは先ほどの参考資料の「基本的な考え方」です。これは市の方で作られた考え方で、今からやろうとしているのは、この地域公共交通会議で集まった皆さんで議論して作っていく地域公共交通計画で、意味が違ってきます。ですから、皆さんでこういうことを盛り込んだ方が良いというのは、どんどん発言していただき、そういう形でやっていきたいと思います。今回は大きなスケジュールが示されて、内容もこの資料だけでは分かりづらいかと思いますが、国土交通省のホームページに丁寧な作成の手引きが作られていますので、それを参考にさせていただき、どんな内容を盛り込めば良いかというのを一緒に考えていきたいと思います。今日この段階ではまだ何もできていないので、議論もそうないかもしれませんが、ぜひこういった内容が入れて欲しいというのがありましたら、この場でご意見として受けたいというところであります。いかがでしょうか。

委 員 今回初めて交通計画を策定されることになると思うのですが、他市の事例見ますと、公共交通はいろんな分野、例えば福祉やまちづくり、観光や環境など、いろんな分野が連携して進めると効果があります。今回計画を作るにあたって、役所内の政策のすり合わせみたいなのも必要になってくると思うのですが、そういったことをやられるご予定は、このスケジュールでいうといつぐらいになるか、そういうところを教えていただければと思います。

事務局 公共交通会議に諮る前に江南市では、庁内の課長クラスで構成する公共交通運営委員会というものを開いております。その場で、今日の資料などもある程度意見を出してもらっておりますので、今後の公共交通計画策定に向けても同様に、庁内で連携してまずは素案の方を作らせていただいて、その上で委員の皆様にご意見いただけるような形で進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

会 長 他市の事例を申しますと、市の方で一番大事なのが総合計画です。総合計画があって部門計画があります。その部門計画のひとつになり得るかと思っています。もっと大きな部門計画があるかと思いますが、部門計画かそれを補助するような計画になってくるかと思っています。いろいろな部局や関係者と調整していただけると良いかと思っています。よろしくお願いします。

他にいかがでしょうか。

今日の会議の議題ででてきた話は名鉄バスといこまいC A Rです。それ以外にも、名古屋鉄道の名鉄電車やタクシーも地域公共交通の大事なメンバーになりますので、いろいろな方々と情報交換していただき、ひとつの計画としてまとまっていけば良いと思います。その辺の準備もよろしいですね。

事務局 各公共交通機関の方や事業者様とも調整していこうと考えております。

会 長 会長というよりも専門家として発言させていただきますと、市の場合、先ほどの名鉄バスの補助路線の話があり、いこまいC A Rに対しても補助を出しています。やはり、お金の話になってしまうかもしれませんが、どういうふうに必要な性があるかという話をきちんと整理しておいた方がいいのかなと思っています。予算は簡単な一本の計画で縛るわけではないのですが、その辺の必要な支出があるということを、きちんと整理していただいた方がいいかと思っています。その辺の準備は大丈夫ですか。

事務局 公共交通計画を作る上で、市の厳しい財政状況を庁内の財政部局から度々言われているような状況であります。厳しい財政状況の中で持続可能な公共交通施策を行う必要があるということで、公共交通への公的資金の投入額なども、そこは目標設定の中で入れていくべきだと考えておるところです。そのあたりも会議の中でお示したいと思います。よろしくお願いします。

会 長 簡単に金額は決まらないかもしれませんが、とにかく考え方です。それは大事な部分だと思います。市議会の中でも大事ですし、当然ながら市議会の中でも議論のある話かもしれません。そういうところをきちんとやっていただけると計画として使えるものになります。要するに、計画を作っても、誰もこんなの知らんわと言われたのでは意味がないので、ちゃんと計画があって、皆がこの通りやるといいねと思っていただけると良いと思っています。協力しますので、よろしくお願いいたします。

あと皆さん、何かご要望がありましたら伺います。

作り方ですが、次回、資料が出てきますけれども、やはり会議の直前ではなく、早めに資料を皆さんの方に届けていただけると、各委員の中、また委員の所属団体の中で議論できるかなと思いますので、余裕をもってやっていただければと思いますので、よろしくお願いします。

他によろしいでしょうか。

それでは、スケジュール等、本当に概略ですけども、承認を受けたいと思います。現状に承認でよろしいでしょうか。

<異議なし>

○報告

1. 江南市地域公共交通に関する地域懇談会開催結果について（資料5）

会 長 報告へ移ります。報告1「江南市地域公共交通に関する地域懇談会開催結果について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料5に基づき説明

会 長 何か皆さんからご発言はありますか。

委 員 定時定路線巡回バスを希望された理由で多かったところをうかがいたいです。

事務局 定時定路線巡回バスの希望が多かった理由としては、ワークショップの中で時刻表に合わせた外出ができるか、予約が面倒かという質問をしました。時刻表に合わせたというのは定時定路線をイメージして、予約が面倒かというのはデマンド交通は通常予約が必要ですのでそれはどうなのかということをアンケートで見た結果が資料5の9ページにあります。参加された方の結果は、時刻表に合わせた外出ができる方が28名、できない方が6名で圧倒的にできるという回答が多かったことと、予約が面倒かというところで、面倒という方が29名、面倒でないという方が8名でこの結果が出ていると思っています。3つの公共交通のどれがいいかという質問に対して選んだ利用が、巡回バスは時間が決まっている、運賃が安いとなっています。ただ、巡回バスの具体的なダイヤは1時間に1本から2時間に1本と示してはいますが、その条件によって変わってくるとは思っていま

す。今回提示した資料ではこの結果になりました。

委 員 参考資料2の7ページでいこまいC A Rに対する不満が多くなっているが、何が不満なのかを教えてくださいたいと思います。

事務局 なお、参考資料2のアンケート結果は平成25年のもので、最新の昨年度実施した基礎調査でいこまいC A Rの満足度を評価させていただくと、基本的には満足度は高く、運行時間帯に対しては満足度が少し低いという結果になっております。

会 長 （地域懇談会）は市全体ではなく特定の地域でやっているの、地域特性もあるかなと思います。解釈もうわべだけでなくいろいろな方面から見ていかなければならないと思います。
他にいかがでしょうか。
北部地域で懇談会をやりましたけれど、他の地域でもやる予定はあるのですか。

事務局 まずは北部地域で検討するという事で進めておりますので未定です。

○報告

2. いこまいC A R（予約便）のダイナミックプライシング（変動料金制）について（資料6）

会 長 続きまして報告2「いこまいC A Rのダイナミックプライシング（変動料金制）について」事務局から説明をお願いします。

事務局 資料6に基づき説明

会 長 経緯にあるように、予約の集中が激しい時間帯とそうじゃない時間帯を何とかしたいと。当然、出てくる発想で、どういう方法が良いのかということで、料金の変動はどうかという思いつきの段階です。まだ調整中だと思いますが、補足説明はありますか。

委 員 愛知県タクシー協会の代表としてではなく、名鉄西部交通というタクシー事業者の代表として申し上げたいと思います。そもそも午前中、運行逼迫がなぜ起こるのかというと、大体こういうときには乗務員不足という話が

出てきますが、これは半分正解で半分正解ではございません。なぜなら当社におきましては、前年同時期に比べて乗務員の数が1割ほど増えておりますので、ここの部分はできる限り対応しようと努力しております。もう一つの理由としては、先ほども話題に上がりましたが、予約のしにくさという部分がございます。弊社は、尾張地域全般でタクシー事業を営んでおりまして、江南市以外でもこのようにこまかいC A Rのタクシーのやり方を展開しております。他の市町村では、予約の時期を前日までではなく当日もできるようにしております。どうしても前日だと、その翌日の運行をある程度予測しながら、どうしても抑えて予約を絞り込まざるを得ないので、本来当日予約であればもう少し対応できるのに、そこを抑えてやらざるを得ないという状況でございます。ですので、前日に限定してしまうと、どうしても配車の方も抑え気味にしなければいけないという、そういう状況がございます。あともう一つが、他の市町村では利用者証というのを発行して、利用の際に登録者番号等で管理して、簡単に予約ができるような形にしておりますが、江南市の方は、その予約の部分で結構お時間がかかってしまって、予約ができにくいというそういう声も社内から聞こえております。ですので、ここの部分を改善していただければ、この逼迫問題を根本的にというわけではないのですが、多少改善するのではないのかなというふうに考えております。ただし、今日結構話題に出ておりましたが、江南市の負担額に限りがあるので、当然予約が増えると江南市の負担額が増えるので、また別の問題が発生してくるのかなというふうに思います。これは私の意見ではなく、あくまでも客観的な事実でございますが、江南市の場合、予約のハードルが高い分、利用者のハードルというのは非常に低い。江南市民ほとんど利用OKで他の市町村というのは高齢者に限定等、かなり利用者を絞り込んでいます。これをある日、突然、年齢高齢者の方々に限定するというのもなかなか難しいとは思いますが、利用の曜日や利用方法等を絞り込むことによって、負担額を抑えるような形にはできるのかなというふうに考えております。非常にデリケートな部分がありますので、あくまでも他の市町村はそういうようなやり方をしていますという客観的な事実を申し上げるということで、私の話をさせていただきたいと思います。

事務局 他市の事例については、いろいろと勉強させてもらっています。他市の方は年齢制限や障害者の方、介護等で条件を絞って運行しているという事実は把握しています。江南市も実際に利用される方は高齢者の方、70歳代以上がほとんどという事実があります。しかし、今までの江南市の公共交通

の考え方としては、名鉄電車、名鉄バス、コミュニティバス、運行できない区域についてはいこまいC A Rでカバーするというような方針で行っておりますので、年齢制限を設けるのはちょっと一つハードルがあがると考えております。できることといえば、今回お話いただいた利用者証がないという話で、利用者証の発行は一つハードルがありますが、利用者一人ずつに番号を付与させていただいて、予約の際には、お客さんに利用者番号を伝えることを徹底することで、予約の手間が少しは減るのであれば、検討していかなければと思います。

会 長 まだいろんな手があると思います。いろんな研究してください。研究するときには、事業者も一緒にお願いします。

委 員 できる限りのことは協力させていただきますので、よろしくお願いいたします。

会 長 他にいかがでしょうか。

委 員 一つの制度として、一つのアイデアとしては賛成しますが、実際使う方になると、例えば60%ある午前中に使う人は医者に行きたいときには、逆に利用料が高くなるのです。午前中に病院に行こうとすると、利用者は1070円が1230円になり余計に負担をしなければいけない。昼から行く人は安くなるかもしれませんが、大体利用する人は病院に行く高齢者が多く、年寄りを対象にするのであれば病院に行く人が多いので、少し負担がかわいそうだなと思いますし、運転手に、この日を境にして料金体制を2つ作り、対応した表を作ってやらせるとありますが、降りた時に計算をしなければならず、運転手にとっては大変な負担だと思います。確かに市の負担を考えればそれはそうかもしれませんが、あまり複雑な制度にすると、やはり実際の運用の面では大変な作業になると思います。

会 長 とにかく一番良いのは簡便な方法で、うまく予約が取れる形ですね。必要な人が乗れるというのが一番良い話なので、ここを色々と細かく見極めていくという作業が必要かなというところでございます。もちろん乗り物はいこまいC A Rだけではないので、他といろいろと組み合わせていくというのは大事なことであります。

他に何かご意見とかございませんか。よろしいでしょうか。

今後の検討とか取り組みは公共交通計画の話もございますから、どうい

スケジュール感でやっていくのか少し気になることがあります。

事務局 今後につきましては、公共交通計画の資料４の中で説明申し上げましたが、今回の会議では公共交通計画の資料はできませんでしたので、９月末頃に第２回公共交通会議を開催し、それまでに資料を皆様に見ていただいて、当日ご意見いただけるというような形で進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

会 長 それで間に合うのかなと個人的に心配です。結構難しい内容が含まれているので、私の思いはまず地域公共交通計画は年度内にまとめたいです。いこまいＣＡＲの予約の方法は、いろんな方法がありますから並行してやっていく形になるのかなと思います。急ごしらえで変な仕組みを作らない方が良いと思いますので、そこだけはしっかりしたものを作ってからが良いと思います。
他によろしいでしょうか。

委 員 運転手を長くやっています。予約便のいこまいＣＡＲが残り、定期便のいこまいＣＡＲが消えた経緯も重要だと思います。お客様からの意見で、半額の方だけ残しようとなった理由は、やはり知らない人と一緒に乗りたくない、時間通りいかない、足の不自由な方が乗ってこられることもある、忘れ物をした、ガス閉めたか等で予定通り移動できず時間に間に合わないという話を多々聞きます。名鉄や市役所にその資料残っているか分からないですが、やめた経緯をまず重要視しそれを参考にするべきです。弊社は扶桑町でチョイソコをやっていますが、乗れる方乗れない方が出てきます。片手でバーを持って片足をトラックにかけて持ち上げられる方じゃないとダメなので、それ以外の方はみんな切り捨ててということです。バス停を設けて、そこまで来てもらえば、１００円なり２００円なので病院も行けますが、そこまで行けない方をじゃあ切り捨てにする。これでは意味がないということでドアツードアのシステムが残ったという経緯があるのですが、この経緯を経験されてない方が自分は乗れるからやってほしいと言われ、じゃあ乗れない人どうなるのということは、一切議論に出てこないのです。もしその辺の資料があるのならば、やめた経緯等も失敗例とし、次回までに少し資料があればと思います。

会 長 過去に行ってきた事業も江南市の財産だと思いますので、振り返ってみるのに良い機会かなと思います。

○その他

会 長 その他について、ご意見・ご要望などいかがでしょうか。

委 員 「こども manaca おでかけキャンペーン」に基づき説明

会 長 知らない人が多いですが、ぜひ皆さん、普及していただければと思います。何かご質問はありますか。よろしいですか。
他に委員の皆さまは何かありますか。事務局側もございませんか。
それでは、私の進行はこれまでとさせていただきます、以降は事務局にお戻しいたします。

事務局 議事進行していただきましてありがとうございます。公共交通に関する計画を、今年度策定するということで期限を定めておりますが、本日議論した中では、やはりきちっとした議論がされた後でないと、計画を策定しても実現が難しくなると思いますので、ここに見えております公共交通事業者の皆様はスペシャリストでございますので、その方の意見、公募の方、利用者の意見だとか、その辺をきちっとまとめた上で計画を策定していきたいと考えておりますので、皆さん、引き続き公共交通会議の議論をお願いいたします。
本日、委員の皆様方におかれましては、長時間にわたり、慎重なご審議を賜りまして、誠にありがとうございます。
以上をもちまして、令和８年度第１回江南市地域公共交通会議を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

閉会（午後４時４０分）